授業科目	初級中国語会話					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	神崎　明坤						
授業概要	初級中国語会話授業では中国語の基礎知識を有する学生を対象に勉強の継続性を考え、やや高いレベルの中国語の文法と実用的な中国語の会話力を身に付けることを目標とします。さらに「テレビで中国語」の DVD を見ながら中国文化に触れ、中国語の勉強は相乗効果を期待します。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．中国語の発音を再度復習しながら、入門で習った文法を踏まえ、基礎文法を習得できる。 2．やや高いレベルの文法を習得できる。 3．実用的な会話力を習得できる。 4．中国文化及び中国人への理解を深めることが出来る。 正確な中国語の発音及び中国語コミュニケーション能力の基礎力を習得できている。
理想的レベル	流暢で簡単な中国語会話能力を身に付けることができる。しっかり基本的な中国語の文法を習得することができている。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	15%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	15%	
レポート外の提出物		
その他	10%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	T011702J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
該当部分の復習	1

授業計画

第 1 回	前期の内容の復習
第 2 回	存在を表す表現、前置詞の勉強、反復疑問文の勉強
第 3 回	前置詞の勉強、 私の家は駅から遠いです。
第 4 回	時間量の勉強、 貴方は何時間中国語を勉強しますか。
第 5 回	助動詞②、前置詞の表現 貴方は何時からアルバイトをしますか。

第 6 回	過去の経験の表現等 貴方はアメリカに行ったことがありますか。
第 7 回	前置詞の表現、「是・・・・的」の構文の勉強 私は二年前にアメリカに行ったのではありません。
第 8 回	助動詞③「能、会」の使い方 明日あなたは大学に来ることが出来ますか。
第 9 回	動作の様態をいう表現、動詞の重ね方の表現 彼女は毎日早く大学に来られます。
第 10 回	動作の進行表現等、 私は小説を読んでいるところです。
第 11 回	選択疑問文等の学習 貴方は中華料理を食べますか、それとも日本料理を食べますか。
第 12 回	比較の表現 彼は私より身長が少し高いです。
第 13 回	類似の表現等 今日は昨日と同じ寒いです。
第 14 回	兼語式及び二重目的語の表現等 私は貴方に私の電話番号を教えます. 発表テスト
第 15 回	纏めと試験
テキスト	中国語はじめの一歩　　竹島　毅著　　竹島　金吾監修　　白水社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	やさしい詳しい中国語文法の基礎　　守屋　広則著　　東方書店」
課題に対するフィードバックの方法	小テストや発表、定期試験等を実施します。小テストや発表評価は採点後、返却します。 毎回真面目に授業に参加すれば、無理なく中国語をマスターすることができるので、頑張ってください。 15 回目の授業中に定期試験を実施します。
学生へのメッセージ・コメント	前期の入門中国語会話の知識がきちんと習得されていること。 受講者は積極的に授業活動に参加することが求められる。毎回課題を提出し、復習を必ずしてください。